

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK210	科目名	子ども英語概論	担当者名	成田 恵子
授業の概要	この授業では、小学校外国語活動・外国語の理念を理解し、子どもの実態や発達段階に応じた指導をするために、第一言語(母語)と第二言語の習得のメカニズムについて学び、習得を促進している要因、習得と学習のメカニズムといった様々な観点から外国語教育への応用の手法を探る。また、小・中・高との接続を視野に入れた英語教育についても考える。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語の目的や意義を理解する。 ・言語習得について理解する。 ・異文化理解と英語教育の関連性を知る。 ・小・中・高との接続を視野に入れた英語教育を理解する。 				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(40) ⑨主体性(20)				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省『小学校学習指導要領 外国語活動・外国語』を理解する。 ・文部科学省『中学校学習指導要領 外国語』を理解する。 ・文部科学省『高等学校学習指導要領 外国語』を理解する。 				
フィードバックの方法	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または授業内に課題の解説を行う。				
単位認定の要件	各テーマごとの課題レポートと期末レポートの提出で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合(%)	期末試験 40%、授業内提出物(指導計画案、指導案、課題レポート) 30%、授業内活動(教材作成)30%				
履修上の注意事項	「小学校英語指導者資格」(J-Shine)を取得するための必修科目、J-SHINE資格取得認定共通カリキュラム				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション(授業概要、評価の観点)、外国語教育の意義について。	⑥⑦	ミニッツペーパー
2			小学校外国語活動の理念-小学校外国語教育の目的と意義。	⑥⑦	ミニッツペーパー
3			異文化理解教育の視点-異文化理解教育の現状と課題について。	⑥⑦	ミニッツペーパー
4			小学校英語の学習指導要領の理解①-小学校外国語活動についての理解を深める。	⑥⑦	ミニッツペーパー
5			小学校英語の学習指導要領の理解②-小・高等学校の英語教育との接続を視野に入れた小学校外国語活動の指導内容や指導方法を学ぶ。	⑥⑦	ミニッツペーパー
6			言語習得の理解①-母語、第二言語の発達と習得の課程を理解する。	⑥⑦	ミニッツペーパー
7			言語習得の理解②-脳科学研究や発達心理学の観点から言語取得の仕組みを捉え、小学校外国語活動のあり方を考える。	⑥⑦	ミニッツペーパー
8			言語習得の理解③-英語の音声・語彙・文法の基礎的知識を理解する。	⑥⑦	ミニッツペーパー
9			外国語教授法について-様々な教授法を学び、外国語活動の指導に応用することができるようにする。	⑥⑦	ミニッツペーパー
10			小学校英語の授業計画①-年間指導計画・単元構成・1時間の授業構成・指導案の作成法を学ぶ。	⑥⑦⑨	ワークシート
11			小学校英語の授業計画②-中学年に適した活動、題材の選定・教材開発の仕方を学ぶ。	⑥⑦⑨	ワークシート
12			小学校英語の授業計画③-高学年に適した活動、題材の選定・教材開発の仕方を学ぶ。	⑥⑦⑨	ワークシート
13			外国語活動における評価の観点と評価基準①-評価の意義と評価基準を理解する。	⑥⑦⑨	ワークシート
14			外国語活動における評価の観点と評価基準②-CAN-DO形式の学習到達度目標と評価のあり方を理解する。	⑥⑦⑨	ワークシート
15			外国語活動における評価の観点と評価基準③-パフォーマンス評価方法を理解する。	⑥⑦⑨	ワークシート
期末試験			期末試験		

使用テキスト	岡秀夫・金森強(2016)『小学校外国語活動の進め方-ことばの教育として』成美堂
参考文献 参考URL	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省『小学校学習指導要領 第4章 外国語活動』、文部科学省『中学校学習指導要領 外国語編』、文部科学省『高等学校学習指導要領 外国語編』、 ・小川 隆夫・東 仁美(2017)『小学校英語はじめる教科書-外国語科・外国語活動指導者養成のために-コア・カリキュラムに沿って-』 mpi
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--